



# まくべ

## わたしたちのまち

(昭和57年10月1日現在)

人口 21,351 (+46)

男 10,544 (+22)

女 10,807 (+24)

世帯数 6,330 (+20)

—人のうごき(9月中)—

転入 92人 転出 58人

出生 25人 死亡 13人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



57年  
11  
No.370

おもな内容

- 豊穰の秋を二万人が満喫……………2・3
- 幕別高校の校舎改築を道教育庁へ陳情……………4
- 健康カルテ⑩ 痛風症……………5
- 走る青春に心のプレーキをノ……………6
- ぼくのお母さんわたしのお父さん⑥……………6
- スポーツひろば……………7
- まちのニュース……………8
- 正しく使って暖かい冬を……………9
- ふるさと館ニュース⑩……………10

## サケの採卵たけなわ

猿別採卵場では、捕獲したサケの採卵作業が急ピッチで進められています。今年は、十勝川水系の親魚のそ上が昨年を上回っており、採卵が間に合わないほどで、最終的に採卵数は前年実績をオーバーする見込みです。

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111  
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷



過去最高の人出でにぎわった産業まつり

飲んで食べて大にぎわい

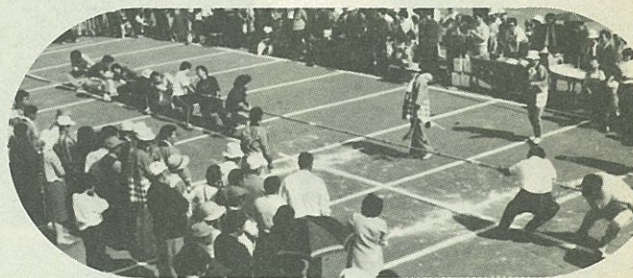
第五回まくべつ産業まつりが、十月三日依田公園において開催されました。この日は朝から雲一つない秋晴れとなり、マイカーなどで家族連れがどっと訪れ、過去最高の二万人の人出となりました。  
会場では、人気の的のこいのつかみどりや野菜などの即売、綱引き大会など各種のアトラクションに果山の人だかりができ、大にぎわいの日でした。

# つ産業まつり

# 二万人が満喫



「こんな日は昼寝もいいもんだナア〜」



見ているほうも力が入った綱引き選手権



「ハッケヨォーイ、のこった!!」  
「わたし、男の子になんて負けないワ!」



ママも一緒に「はいチーズ!!」



みんなフィールドアスレチック大好きっ子

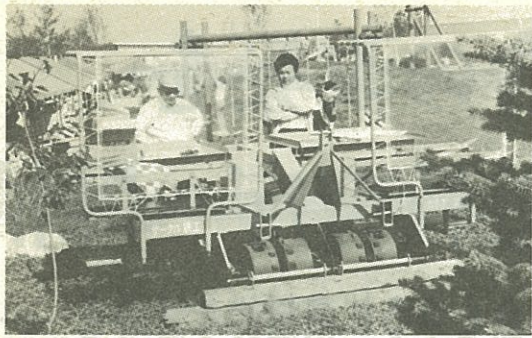
ふるさと館の人気者はなんといってもサケ君です



人気の的、こいのつかみどりには長〜い列 「まだかな、早くやりたいヨ」



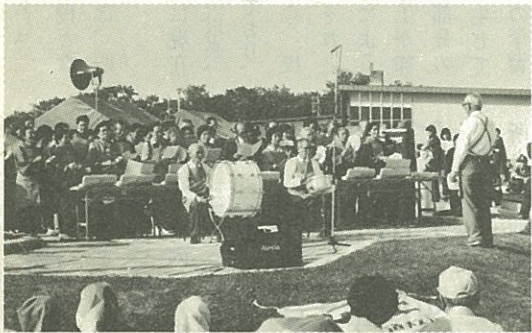
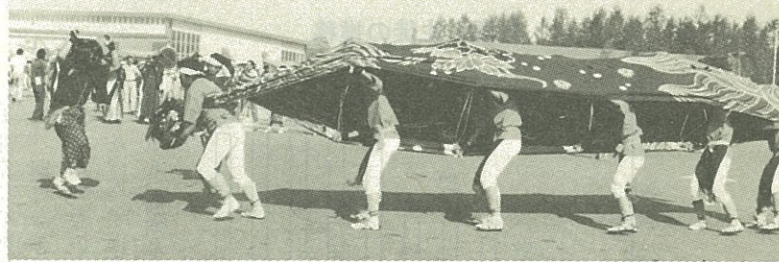
新型農機具もずらりと展示



郷土芸能の豊穡太鼓と糠内獅子舞



秋の味覚、メークインの試食コーナーには長蛇の列



今年も演奏しました。「ザ・しらかばバンド」

# 豊穡の秋を

## 第5回まくべつ



昼食時にはバーベキューコーナーも大にぎわいでした



コイ君、ボクにもつかまえて!!



まずはトランクに!



即売コーナーでは、なんでも飛ぶような売れゆき!



最高気温は三三・一度「暑いなあ〜」



飲食店の売店もたくさん並びました

「ヨォーイ、ドン!」「おっきいのをつかまえてやるぞ!!」

# 校舎の改築を 道教育庁へ陳情

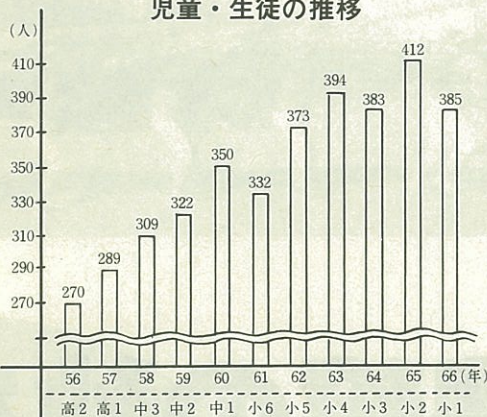
期成会を中心に積極的な活動を……

## 幕別高校

道立幕別高等学校の校舎が老朽化したのに伴い、校舎の改築をしようと、町、町議会、PTAなどが中心となって「幕別高等学校校舎改築促進期成会」（会長・大石町長）を五十七年九月六日に設立し、道や道教育庁へ陳情しています。

この期成会は、五十年七月に設立した「幕別高等学校全日制普通科増設促進期成会」の名称を変更したもので、校舎改築と普通科増設の陳情も合

児童・生徒の推移



わせて行おうというものです。

幕別高校は、二十三年に池田女子高幕別分校としてスタートし、二十六年四月には町立幕別高校となり、道立へ移管となったのは、四十年四月からです。

校舎は、二十八年十一月に現在地へ新築されたものですが、以来、七度の増改築工事が行われており、木造建築部分が多いことから、校舎が老朽してきています。それと地盤が軟弱なため、地震等による破損、さらには厳寒期の凍上が加わり、開閉部分の狂い、床部分の隆起による傾斜等が随所に生じています。このように、生徒の学習上はもとより、災害防止等の面からも非常に心配される状況にあるため、期成会を設立し陳情することになったものです。

また、今年の六月には、幕別高校PTA、同窓会から町議会へ「幕

別高等学校校舎改築に関する陳情書」が提出されています。

## 普通科間口増の陳情

校舎改築と合わせて、普通科の増設も強力に陳情しています。

現在、町内の各中学校から幕別高校普通科へ在学している生徒は、定員二百七十人のうち百五十一人（五六％）と半数以上います。

また、五十七年四月からは、十

## 途別小学校の校舎を改築

明治三十五年、途別簡易教育所として開校した、途別小学校が改築されます。

途別小学校の校舎は、昭和二十八年四月三十日、火災により校舎、屋体ともに全焼するという不運に遭い、現校舎は、昭和二十八年十一月二十四日に建てられたものです。建てられた当時は資材不足で、老朽化が激しく、今回の改築となったものです。

新校舎の建設規模は、鉄筋コンクリート二階建て、総面積千三百四十八平方メートル（屋内体育館三百六十三平方メートル）、普通教室が四教室、特別教室が三教室となっています。建設場所は、現在の校舎の西側（途別二二番地）で、事業費は一億九千万円です。

この校舎の特長は、外壁などをまっ白に塗装し、「ホワイト・スクール」の印象にして、中央の屋根

勝管内を四学区に分けた新学区制が行われたことから、幕別高校普通科への進学希望者が、生徒の増加もあり、より以上に厳しくなっていくものと考えられます。

このようなことから、期成会では、道教育庁や関係機関へ、幕別高校校舎改築と普通科増設を強く陳情、今後とも期成会を中心に全町を挙げた、積極的な活動が必要であります。

勝管内を四学区に分けた新学区制が行われたことから、幕別高校普通科への進学希望者が、生徒の増加もあり、より以上に厳しくなっていくものと考えられます。

このようなことから、期成会では、道教育庁や関係機関へ、幕別高校校舎改築と普通科増設を強く陳情、今後とも期成会を中心に全町を挙げた、積極的な活動が必要であります。

なお、校舎の完成は、十二月二十日の予定になっています。

同窓生が校舎お別れクラス会

途別小学校が改築するということで、昭和三十五年三月の卒業生が、クラス会を兼ねて思い出の校舎を見学しました。

卒業生は一クラス三十四人。当日は十八人が参加、遠く東京から参加した女性もいて、二十二年前のいろいろな思い出を語り合いました。卒業生を代表して、井沢法子さん（旭町）に思い出を書いていただきました。

今年の夏、小学校を卒業して二十二年目のクラス会が開かれ、六年間を一クラスで過ごした途別小時代の仲間たちは、二十二年たった今でも、やはり最高に心許せる

楽しい仲間でした。

中台にある今までの小学校は、初夏のころから、こんもりふくれ上った緑の中に赤い屋根を見せて私の大好きな景色となり、学校の前を通るたびに、この卒業生であることに誇りを感じてきました。新校舎は、元中学校のグラウンドに建てられているとのこと。設備も十分に整い、今まで以上に美しい小学校ができあがりつつあるのだろ

うと思います。

私たちの胸の中にある思い出は、校舎が生まれ変わっても鎖のようにつながって、受け継がれていくことでしょう。それは子供のころ、いろんな色の折り紙をつないで作



改築される途別小学校

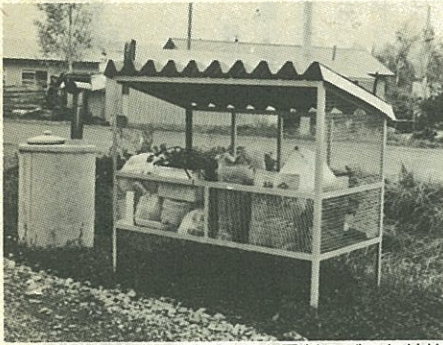
ったくさりのように、さまざまなか合いをもった子供たちが、何十年もつなぎ続けてきたものです。私たち旧校舎卒業生全員の思い出が、新校舎の中で、ますます美しく太くなってゆくことを願っております。

# わたしたちは、こうして ゴミ問題に取り組んでいます

## ～ 札内新北町内会 ～

札内新北町内会（瀬上明夫公区長、世帯数・二百二十三戸）では、公区発足三十周年にあたる本年、先人の遺徳をしのぶとともに、これを記念し、住民に何か役立つ記念事業の推進のためと、実行委員会を發足して、その準備を進めてきました。

主な記念事業として、(1)ゴミ集積所に収納箱の設置 (2)町内案内板の増設 (3)記念誌の発行 その他各種祝賀行事を企画しているとのことです。その中で、特に環境美化向上の観点から、公区内すべてのゴミ集積所に収納箱（金属製）を設置した経緯、および、ゴミ減量運動の一環として「焼却炉」の



札内新北町内会で設置した金属製のゴミ収納箱

共同購入について、公区長・瀬上明夫さんにお話を伺いましたので、皆さんにご紹介します。

### ゴミ集積所に 収納箱を設置

新北町内会には、現在二十カ所のゴミ集積所がありますが、ゴミの搬出状況は地域によって、かなり悪いところが見受けられるようです。町の発行するゴミ収集カレンダーを、よく見て搬出する人は守ってくれますが、可燃物、不可燃物の区別をせず搬出する人、また、日時をわきまえず出す人などもあり、美観を損なっている集積所があるそうです。

そこで町内会では、二十カ所のゴミ集積所に、金属製の収納箱を設置しました。その結果、野犬、猫、カラスによるゴミの散乱もなくなり、大変きれいになったとのことです。

しかし、ゴミ収納箱を設置したことにより、収集日時等、区別なく搬出されることも予測されるので、ゴミカレンダーをよく見て搬出するよう、町内会報を通じて、住民に周知させるそうです。

ゴミ収納箱は、軽量で二人位で移動も可能ですし、価格も一基二万円前後と、比較的購入しやすいとのことです。

町内会発足三十周年記念事業とはいえ、住民負担のもと町内全域にゴミ収納箱を設置したことは、全町的にも前例がなく、その動向が注目されます。

### ゴミ減量に 焼却炉を導入

ゴミ減量は家庭からを台言葉に、新北町内会では、ゴミ焼却炉を各戸にあっせんしました。本年は十五基程度注文したそうですが、ドラム缶を利用したものを含めると、町内世帯の二割程度は既に焼却処理しているとのことでした。

ゴミの量、および、処理費用は年々増加の一途をたどり、このまま推移するとしたなら、町財政上非常に厳しくなることが予想されます。このような状況を考えた場合、地域の皆さんの発想から焼却炉を導入し、ゴミ減量運動を展開していることは、大変に重要なことでもあります。

以上のように、町内会全体で、環境美化運動に積極的に取り組んでいます。ほかにも、婦人部を主体にした資源回収、ゴミ焼却炉のあっせん、町の提唱する春と秋の一斉清掃等、快適で住みよい生活環境維持のため、努力されている様子が伺われていました。

## 健康 カルテ

19

### 痛風症

痛風症は手や足の関節に、突然赤みを帯びてはれ、激しく痛む病気です。

発作時の痛みは、読んで字のとおり、風が通り抜けるだけでも痛みが増すというほど強度の痛みで、もちろん歩行も困難となります。最近では、食生活の変化からか、急増する傾向が見られます。

原因として、特に動物性たんぱく質を多く取り過ぎた場合、これが体内で消化される途中に、細胞の新陳代謝の燃えかすとして、尿酸が血液中に多くなり、こんなとき他の誘因と重なり、尿酸は抹消の手足の関節に沈着して発作が起きるのです。

ぜいたく病とも言われるように、肥満型で肉食を好む人に多く、四十歳から六十歳ぐらいの男子に多いようです。症状は関節、特に足の親指の付け根の関節が赤くはれ熱

を持ち、激痛を伴います。これは、骨に尿酸が多く沈着しているためで、強度の場合には、尿酸結晶が皮膚を破って出てくることもあり、発熱する場合もあります。

一週間もすると、全く治つたような状態となりますが、また発作の繰り返し起こることもあり、回数が多くなるにつれて、治るまでの日数も長くなります。進行してくると、足ばかりでなく、ひざやひじの関節にも沈着して変形し、痛風結節というこぶができる場合もあります。

治療は、痛みの激しいときには、局部を動かさないようにして、湿布で冷やし、病院で受診しましょう。正しい治療をしなければ、副作用を起す場合がありますので、医師の指示に従うことが大切です。

予防として、次の発作を起さないように、食事に注意することが肝心です。尿酸の原料であるプリン体でたんぱく質の多く含んだ、レバー、モツ類等の内臓物はすべて避けるようにし、野菜類、海藻類を多くとりましょう。塩分も一日七グラムから十グラム以内に、高血圧も予防しましょう。

(町保健婦・武田ヨネ子)

# 走る青春に心のブレーキを！

## 激増する青少年ドライバーの交通事故……

最近、二十五歳未満のいわゆる青少年ドライバーによる無謀運転暴走型の死亡事故が目立って多くなっています。このような青少年ドライバーの事故を未然に防ぐには、本人の安全運転の自覚はもとより、家庭、とくに両親の注意、指導が大切といえます。

この機会に、皆さんとこの問題について考えてみたいと思います。

### 若者の生命を脅かす最大の敵は交通事故

毎年、道内では五百人を超える青少年（十五歳～二十四歳）が不幸にして死亡していますが、その死亡原因のトップは、なんと交通事故で、実に三〇％近くを占めています。



交通事故死ストップ十勝百日作戦で街頭指導

また、二十歳の青年が二十五歳になるまでに、実に二十五人に一人の割合で交通事故に遭って死傷している——というデータもあります。

### 青少年ドライバーは事故を起こしやすい

道内の二十五歳未満の青少年ドライバーは、約三十万人で、全体の約十七％を占めています。この青少年ドライバーによって起こされる交通事故は、発生件数で約三分の一、死亡事故では四〇％近くにもなっており、他の年齢層に比べて二倍から三倍も事故を起こしやすいという事実があります。そしてその大多数が、運転技術を過信し、人間の反応時間の限界や車の慣性力、遠心力など自然の法則に逆らった無謀な運転で事故を起こしているのです。

このように、青少年ドライバーに事故が多いという背景には、遵法意識の低下、節度ある行動の欠如などモラル全般にわたる問題があるといえます。

### 交通安全は家庭から

このように、情緒不安定な若者は、一時的な衝動にかられて、自

動車のもつスピードの魅力に負け、自己抑制ができなくなり、暴走し、事故を起こしているといえます。青少年ドライバーの悲惨な交通事故を未然に防ぐには、家庭、とくに両親の注意、指導が大切といえます。子供が車で外出する際には「安全運転するんですよ」の一言も忘れずに！

## 緑町第2公区で「交通安全住民の集い」を開催

緑町第二公区（公区長・山崎長二）では、昭和四十八年から毎年、春と秋に交通安全行事を開催し、春は正しい自転車の乗り方、歩き方の実習を、秋には「交通安全住民の集い」を行っています。

今年も十月三十一日に「交通安全住民の集い」が開かれ、みどりまちだよりで募集していた子供交通安全標語の入選発表や、子供・住民の交通安全宣言の確認などが行われました。

- 一位 池本美和さん（小六）
  - 二位 佐藤裕介君（小四）
  - 三位 橋本尚人君（小二）
- 交通安全！  
正しいルールは 家ていから！



お母さん



中里小学校（3年）  
岩井優樹君

## ぼくのお母さん⑥ わたしのお父さん



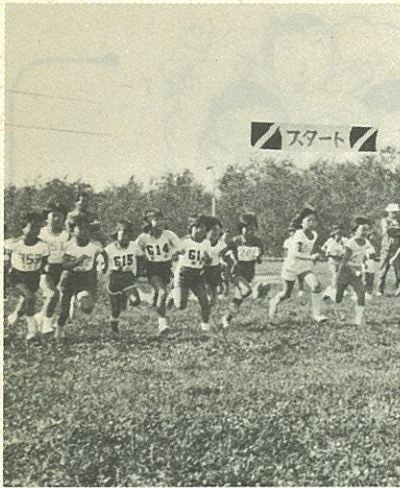
お父さん



中里小学校（6年）  
岡和田律子さん

ぼくのお母さんは、いつも牛しゃでしごとをしています。朝、ぼくがねているうちに起きて、朝ごはんのしたくをし、家族が食べおわってから牛しゃに行きます。牛しゃに行くのは、お母さんだけです。ほかの人は畑のしごとをしているからです。牛乳をしぼったりフンのしまつをしたりします。牛しゃのしごとが終ると、こんどは畑に行つて、みんなと一しよに仕事をします。夕がたになると、また一人で牛しゃのしごとをします。

私のお父さんは、春先のピートのハウスの仕事から始まって、いも、豆、小麦、そして十一月のピートの収穫が終わるまで毎日忙しく働いています。夜、うちに入つて来て、ごはんを食べる時「ん」といって、お母さんに茶わんをわたして、おかわりをします。食べ終ると「うまかった」と言つて、あぐらをくずしてゴロンと横になります。それから、お父さんはカラオケが好きです。おきやくさんが来た時など、よく歌います。好きな歌は演歌です。たまに音痴になることもあります。そのほか、お父さんはビデオで色々写したり、日曜大工をしたりします。私は、お父さんがいつまでも元気で、仕事や趣味にがんばってほしいと思います。



# 秋晴れのもと 健脚を競う

## 第13回全町マラソン大会

スポーツ  
ひろば

皆さんお元気ですか？  
健康な体づくりのため  
スポーツをしましょう。



第十三回開町記念全町マラソン大会が、十月十日、秋晴れのもと、町営陸上競技場において行われました。この大会には、小学生から壮年まで三百五十八人が参加し、健脚を競いました。

大会成績は次のとおりです。(一位のみ掲載)

### 男子の部

- ▽小学一年・吉島直人(途別小)
- ▽同二年・保前悦邦(札北小)▽同三年・木村なおき(幕小)▽同四年・中山仁(幕小)▽同五年・山畑尚植(幕小)▽同六年・神馬強志(幕小)
- ▽中学一年・長谷川英人(札中)▽同二年・宗広寿(札中)

### 女子の部

- ▽同三年・菅野秀人(幕中)▽青年A・山本正和(榎内)▽壮年D・相原利紀(幕別)▽同E・鳥山博基(札内新北町)▽同F・須田昇一(札内春日町)▽同G・橋本秀一(幕別)

### 女子の部

- ▽小学一年・坪原智子(幕小)▽同二年・芳

賀寿子(札北小)▽同三年・平川和香(幕小)▽同四年・額美佐紀(幕小)▽同五年・石田繁代(途別小)▽同六年・高山千夏(幕小)▽中学一年・植松由貴(札中)▽同二年・高橋佳江(札中)▽同三年・金田育子(札中)▽ママさんの部・松田綾子(札内)

## 札内泉町が優勝

### 第九回町民ソフトボール大会



優勝した札内泉町チームの皆さん

第九回町民ソフトボール決勝大会が、十月十日に幕別小学校グラウンドにおいて、七チームが参加して行われました。

その結果、優勝は札内泉町、準優勝は札内若草町でした。なお、札内泉町は昨年の優勝に続き二連覇です。

### 一回戦

- 明 倫 12-6 札内豊町
- 札内若草町 7-6 旭町第四
- 札内桜町 11-2 榎内第一

### 準決勝

札内若草町 15-9 明 倫  
札内泉町 8-6 札内桜町

### 決勝

札内泉町 4-0 札内若草町

## 札内ママが優勝

### 全町バレーボール大会

全町バレーボール大会が、九月二十六日に札内中学校体育館において、四チームが参加して行われました。

大会結果は次のとおりです。

- 優勝 札内ママ(三勝)
- 準優勝 札内南ママ(二勝一敗)
- 三位 幕別ママ(二勝二敗)

### 芽室中が優勝

### 依田公園球場開き記念大会

国民宿舎前の依田公園球場が完成し、依田公園球場開き記念大会が、十月十一日に管内の優秀中学生チームを含め、四チームが参加して行われました。

### 準決勝

札内中 1-0 大樹中  
芽室中 7-1 帯広一中

### 決勝

芽室中 2-1 札内中

## ジャイアンツが優勝

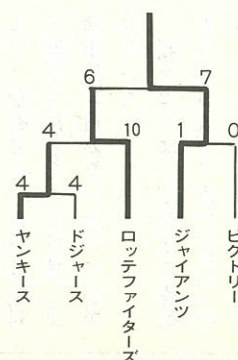
### 全町オールスター野球大会

第五回全町オールスター野球大会が、九月十五日に町営球場において、五チームが参加して行われました。

その結果、ジャイアンツがロツ

テファイターズを七対六でくだし優勝しました。

なお一回戦のヤンキース対ドジャースは四対四の同点で、じゃんけんにより、ヤンキースの勝ち。大会結果は左表のとおりです。



## 第一回公区対抗女子ソフトボール決勝大会が行われる

第一回公区対抗女子ソフトボール決勝大会が、十月十日に幕別中学校グラウンドにおいて、三チームが参加して行われました。その結果、優勝は札内春日町、準優勝は緑町第三でした。

## お願い

公区・地域などで行事等を開催した場合は、簡単な内容と写真2種類を町民課広報広聴係までお寄せ下さい。広報まくべつの「まちのニュース」で掲載いたします。



# まちのニュース

## ●消防車が寄贈されました

新しい消防車が、日本損害保険協会から寄贈され、十月十四日に受納式、寄贈車による放水、幕別市街のパレードをしました。



## ●青空バザールを開催

町消費者協会では、旧消防庁舎前で青空バザールを開催。家庭で眠っている贈答品などを持ち寄り即売。安い値段にビックリ。



## ●第二回ばん馬競技大会

千代田えん堤右岸で行われ、人馬一体となった重量感あふれるレースに詰めかけた二千人余りの観衆が、声援をしていました。



## ●老ク連会長杯ゲートボール大会を開催

十月十六日に、町運動公園で、十八チームが参加し、熱戦が展開されました。優勝は若菜チーム、準優勝は駒島Bチームでした。



## ●青团連で秋物野菜の即売会

十月十七日に青年団体連絡協議会では、秋物野菜の即売会を開催。農村青年が家から持ってきた新鮮な野菜を、買い求める人で賑った。



## ●超軽量飛行機が茂発台の空に

十月十七日に、超軽量飛行機(機体重量七十二キ)が茂発台の特設飛行場で、大勢の見物人が見守る中、青空に浮いていました。



## ●老人スポーツ大会を開催しました

第8回老人スポーツ大会及び身体障害者運動会が、9月30日に運動公園において行われ、15種目の競技に1日楽しんでいました。



## ストップ・ザ・交通事故

— 6 —

札幌あかしゃ町

石野 常 男 さん



冬道の運転は  
特に気をつけよう！

最近、朝夕が一段と冷え、雪の季節が近づきつつあります。

冬の初めころは、交通事故等が一層多発するようです。運転者は、今までもよりも気を配ることが大切であり、車間距離を保ち、適した速度運転が必要かと思えます。

ところで、交通事故の原因にはいろいろありますが、一番の元はルール違反だと思えます。運転者は、自分は絶対に違反を犯さないと自覚し、交通事故に遭わないように心掛けたいものです。

我々大人は、これから運転者になる人や子供に、良い「身本」であるような見本でなくてはならないと思います。

また、運転者は、譲り合いと思いやりで車を運転し、自分の命は自分で守りたいものです。



# 「正しく使って暖かい冬を」

## 石油ストーブによる火災を防ごう

本格的な冬を間近に控え、家庭ではストーブなどの暖房器具を使うことが多くなります。

なかでも、石油ストーブは操作が簡単なうえに経済的という点でよく使われます。しかし、取り扱い方をひとつ間違えると屋内で使うだけに、思わぬ大火につながります。

そこで石油ストーブによる火災を防ぐため、次のような点に注意しましょう。

### ①置き場所

カーテンの近くなど燃えやすいもののそばでは使わないこと。周囲の使用する前に具合の悪い箇所は補

りはいつとも整理整頓しておきましょう。

### ②点火する前

給油口やカートリッジ式タンクのふたが完全に締まっているかどうか、確認してから火をつけましょう。傾くと火の消える装置（対震自動消火装置）などの点検と整備は専門家に頼みましょう。

### ③火のついているとき

使用中は、長い時間そばを離れることのないようにしましょう。外出するときには、火の消えていることを必ず確認しましょう。灯油の補給は、火を消してからしましょう。

### ④灯油の保管

灯油は、火気を使用しない場所に保管しましょう。ホームタンクを使用しているところでは、タンクの傾斜や油もれがないかを調べ、使用する前に具合の悪い箇所は補

## 短歌

### あゆみ会

九月例会

(吟行会即詠)

秋草の花を見むとて来し丘に色褪せし萩の枝を剪り採る

勝山 春代

収穫の秋深みたり窓に見る遠山山の木木は色付く

森田美恵子

黍畑に日暮れるまでを皮むきし援農作業も今はなつかし

塚田 常子

気ままなる身を思はせて秋空を鳶一羽が舞ふを羨しむ

清水ハツヨ

なんとまあからつと晴れた蒼空か木の間洩るる陽金の條なす

寺師 治人

修正しよう。また、地盤の凍上や落雪にも気を付け、これらによる被害を受けないような措置をとりましょう。以上のほかに、ストーブの故障や分解掃除は専門的知識のある業者に依頼しましょう。



## 広野貢さんが北海道社会貢献賞を受賞

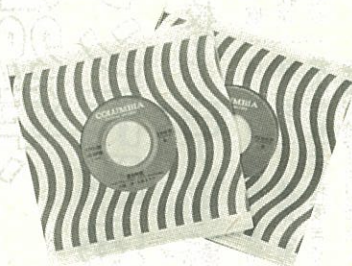
広野貢さん(糠内)は、永年、統計調査員として従事し、本町行政の推進に貢献した功績が認められ、「北海道社会貢献賞」を受賞しました。

広野さんは、昭和二十一年以来現住地において農業を営み、その傍ら、昭和二十五年の世界農林業センサスから、本年二月の北海道農業基本調査まで、三十二年間にわたり統計調査員として従事しました。その間、調査区域内の事情を的確に把握し、調査内容も確実に調査され、また、他の調査員の指導者的存在でもあります。



## 幕別町歌・音頭のレコードがあります

昭和四十一年に、本町の開基七十周年を記念して制定された、町歌・音頭のレコードをこのほど、十六年ぶりに複製しました。家族みんなで歌ってみてはいかがでしょうか。値段は一枚二百七十円(実費)です。ご希望の方は、役場総務部町民課へどうぞ。



## 寄付者のお名前

### 町へ……

▽木村道子さん(札内中央町)から夫・彰さんが生前お世話になったお礼に、福祉関係に役立ててほしいと五十万円  
▽札内剣道スポーツ少年団(代表・遠藤政雄)から札内神社秋季祭典おみこし奉仕料として、札内中学校あかしや学級へ六千七百六円

### 町社会福祉協議会へ……

▽幕別民謡会から一万円  
▽谷内勝利さん(五位)から父が生前お

世話になりましたと二万円  
▽鈴木木一郎さん(札内泉町)から母が生前お世話になりましたと五万円  
▽九本スズ・栄一さん(依田)から夫・父が生前お世話になりましたと五万円

### 老人クラブへ……

▽高田健一さん(依田)から札内寿会へ五万円  
▽鎌田哲生さん(相川)から相川南老友会へ二万円  
▽九本スズ・栄一さん(依田)から札内鉄南老人クラブへ三万円  
▽山田定雄さん(五位)から糠内老人クラブへ三万円  
▽谷内勝利さん(五位)から糠内老人クラブへ三万円  
▽西川勇次郎さん(五位)から糠内老人クラブへ三万円

## 国枝孝吉さんから百万円の寄付

国枝孝吉さん(札内青葉町)から、今年の十二月に完成予定の糠内コミュニティセンターの備品購入に役立ててほしいと、百万円の寄付がありました。



大石町長に手渡す国枝孝吉さん

古い写真貸します  
記念誌などの編集に

幕別では町史の他に、学校の記念誌、社史、部落史などがたくさん発行されています。特に部落史や町内会史は他市町村にくらべてかなり活発に取り組まれています。こうした編集にたずさわる人が頭を悩ますのは写真の収集。中でも行政に関する記録写真は、なかなか見つからないようです。

そこで、町史や広報紙のために収集・撮影し、役場で保存していた写真、ふるさと館へ町民のみならずから寄贈いただいた写真を整理し、貸出用の写真ファイルを作りました。

「こんな写真を載せたいが見つからない」という時は、ぜひご相談ください。



10月24日・午後10時30分

またまた  
感動のドラマ

サーモン通信 25

大樹町の沖合で捕獲し、ふるさと館の水槽に入れたサケ12匹（オス3：メス9）が、十月二十日頃から産卵行動を始めました。最初の産卵は二十三日午前四時。以後十四回も（二十五日現在）自然産卵のドラマがくり広げられました。メスの数よりも産卵の回数が多いのは、一度で全部産むのではなく二〜三回に分けて産むためです。最終的には二万粒以上の卵が水槽に産みつけられることと思います。

ところで今年の産卵では信じられないようなことが起こりました。産卵中のカップルのすぐ隣りに、別のもう一匹のオスが並んで同時に受精したのです。このようすは三台のカメラと二台のビデオカメラに鮮明に記録することができました。ビデオテープは編集できしだい、ふるさと館ホールのビデオプロジェクターでごらんに入れます。

兄弟の対面まで  
あと30日

サケの飼育・記録にたずさわってきた私たちの夢は、ふ化させ人工海水で育てたサケと、翌年にふ化するサケとを、水槽越しではあ



学校でサケ飼育（札内南小＝昨年）

つても対面させることでした。いわば、一歳違いの兄弟を札内の丘の上で出会うのを目標にしてみました。今回産まれた卵から十二月初旬

には新しい生命が次々と誕生します。あと三十日で、私たちが三年間抱き続けたロマンが実現するのです。

ことしの  
サーモン作戦

昨年は町内四つの学校（相川小・札内南小・幕別中・札内中）でふ化から放流までの飼育に成功しました。サケを育てる子供たちの目は、自然界の不思議さに出会った感動と、生きものをいつくしむやさしさにあふれていました。そうしたみずみずしい発見とか感動に、もっとたくさんの子供たちに

接してほしいのです。今年にはさらに多くの学校で飼育に挑戦していただけたらと思います。各学校に卵をお渡しできるのは十一月中旬の予定です。また、ふるさと館の卵は北海道テレビ放送（HTB）へもプレゼントします。HTBは豊平川のカムバック・サーモン運動を進めており、放送局ロビーの水槽（サーモン・スクール）でサケの成長のようすを札幌市民に公開しています。幕別出身のサケのようすは月曜から金曜まで毎日、ニュースロイタリー（午後六時一〇分）の中で全道放送されます。

第32回  
幕別  
もっさり

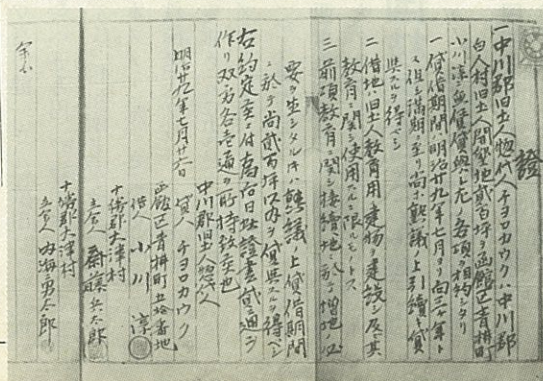
明治29年、  
コタンに学校が

思い出の学校⑧

白人耶蘇学校

明治二十九年、白人コタンに「耶蘇学校」と呼ばれたアイヌ学校が建てられた。白人に私立教育所が開校する一年前のことである。十五坪ほどの草葺きの小屋を二つに仕切り、津田喜九郎（菊郎）先生が一人で、通ってくるコタンの子供たちを教えていた。津田先生が去った後、白糠からヤコブ先生（アイヌ人）がやって来ていた。明治三十四年、それまで建てられていた南3線16号付近から現在の蝦夷文化千住考古館前に学校が移され、同年制定された「旧土人児童教育規程」にのっとり、授業がすすめられた。一週二十四時間（一日四時間（午前）授業。教科目

は、修身、国語、算術、体操、裁縫（女子）、農業（男子）で、尋常小学校三年程度までの内容を四年間で終了させるというものであった。ちなみに、尋常小学校の就学年限は六年、教科目は農業を除く前記の教科に理科、地理、歴史等があった。明治三十六年廃校。その時に通っていた子供は五〜十人ほどであったという。その後、コタンの子供たちは白人尋常小学校へ通うことになったが、他の地区に見られるような差別をされ、特別にアイヌ学級をつくって教育されたかどうかは定かでない。（取材・松下倫子）



●アイヌ教育と布教を目的とした聖公会設立のアイヌ学校は、この白人耶蘇学校の他に、函館、釧路、胆振、日高の各地につくられていた。「アイヌ英和辞典」を著したジョン・パチエラーは白人耶蘇学校を三度、来訪している。

「おわび」先月号でお知らせした小笠原源粉工場（美川）の放送は、製作のついで十一月十三日に延期になりました。